

令和5年度



業 務 報 告



公益財団法人広島市農林水産振興センター
Hiroshima City Agriculture, Forestry and Fisheries Promotion Center

(農林部 農業担い手育成課)

目 次

I	野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発	
1	果菜類の栽培試験	
	(1) オクラの栽培試験	1
	(2) スイートコーンのハウス早熟栽培試験	4
2	果菜類の展示栽培	
	(1) きゅうりの栽培展示	7
	(2) ピーマンの一本仕立て栽培展示	10
	(3) 露地なすの栽培展示	12
4	令和5年度土壌分析実績	
	(1) 農家ほ場の土壌診断	14
	(2) 試験研究用分析	15
5	最新の栽培技術等の実証展示	
	(1) 環境モニタリングシステム・生産管理システムの運用	16
	(2) JGAP認証取得（こまつな、みずな、ほうれんそう、しゅんぎく）	17
4	直売所向けの野菜・花きの栽培展示	18
II	園芸バイオ技術による野菜や花き等の優良種苗の生産供給	
1	園芸バイオテクノロジー導入事業の概要	21
2	苗の生産サイクル	22
III	新規就農者等の研修指導	
1	“ひろしま活力農業” 経営者育成基礎研修	23
2	農業振興センター農業研修	27

I 野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発

1 果菜類の栽培試験

(1) オクラの栽培試験

担当者：南川 隆三

1 目的

“ひろしま活力農業” 経営者育成事業の主要経営品目である「こまつな」は、市場入荷量の増加等に伴う価格の低迷が課題となっており、生産コストの削減や流通対策と合わせ、新たな経営品目の拡充が求められている。

広島市内におけるオクラ生産は、産直市での販売を主体とした小規模な露地栽培が主力であり、7月以降が主な出荷時期となることから、ビニールハウスによる早期出荷が可能となれば価格安定が見込まれる。

そこで、センターにおいて JA いぶすきの「オクラ栽培基準表」を参考に広島市における播種時期や栽培方法、収量などを調査・検討する。

2 調査方法

(1) 調査項目

発芽状況、収穫期間、収量・可販率

(2) 目標収量

1.7 t / 10a (鹿児島県 JA いぶすき経営指標)

(3) 耕種概要

項目	内容	選定理由等
ア 作 型	夏秋・ビニールハウス栽培	葉物野菜生産施設の汎用化の確認
イ 整 枝	一本仕立て	
ウ 品 種	ブルースカイ Z (ヴィルモランみかど)	可販果収量が多い品種
エ 栽培施設	ビニールハウス (7m×14m)	
オ 栽植距離	条間 45 cm、株間 15 cm、2 条×4 畦、 4 粒播き/箇所	約 29,000 本/10a (JA いぶすきでの栽植密度)
カ 栽植面積	各区 39 m ² 約 2,900 本/a	
キ 播種	1 回目：令和 5 年 3 月 9 日 2 回目：令和 5 年 3 月 20 日	
ク 施肥設計 (基肥)	N-P-K 無施肥 オキシパワー 5 kg/a	ホオンマルチ BU (マルチ)、点滴 チューブ 2 本/畝
ケ 施肥設計 (追肥)	トミー液肥ブラック トミー液肥グリーン ボンバルディア 葉活酢 適宜	

(4) 管理方法

ア 整枝・摘葉

主枝とする枝以外の側枝は、順次早めに除去した。葉は、生育に合わせて収穫時に順次摘葉した。

イ 施肥・水管理

追肥は、生育に合わせて液肥等を週 1 回程度かん水時に液肥混入機で行った。

水管理は、初期の立枯れ病や過湿を避けるため乾いたときに行った。生育が旺盛になり着果量が増加するにつれ徐々にかん水量と回数を増やした。

ウ 防除（対象病害虫、回数）

立枯れ病、灰色かび病、アブラムシ類を対象に8回行った。

エ 収穫・出荷

収穫重量は、Mサイズ（8～10cm）を基本とし、品位基準に基づき選別を行った。出荷は、100g/袋で行った。

(4) 出荷規格・品位基準

ア 出荷規格

等級	階級	1果の長さ
A・B	L	10～12cm
	M	8～10cm

イ 品位基準

A	B
① 品種固有の形状を有し、色沢良好なもの。 ② 病害虫、傷害等のないもの。 ③ 曲がりの程度が5mm以内のもの。	① Aに次ぐもの。 ② 曲がりの程度が15mm以内のもの。

3 結果

(1) 栽培期間

令和5年3月9日～7月31日

(2) 収穫調査期間

令和5年5月22日～7月31日

(3) 発芽状況

1回目、2回目ともに8割以上が発芽した。

(4) 初期生育状況

1回目は3割程度、2回目は1割程度で立ち枯れ病が発生した。

(5) 収量・上物率

ア 全重は、換算収量で1,749kg/10aとなり、目標収量に達した。

イ 月別の収量は、6月が換算収量で844kg/10aと一番高くなった。

ウ 月別の可販率は、5月が83%と一番高く、生育後半の7月が49%と一番低くなった。

表 月別の収量、可販重及び可販率

【重量は10a当たり換算】

調査項目	5月	6月	7月	合計	割合(%)
全重(kg/10a)	245	844	659	1,749	
A品 M(kg/10a)	131	287	162	580	33%
L(kg/10a)	56	192	135	383	22%
B品(kg/10a)	17	19	29	64	4%
規格外(kg/10a)	42	346	333	721	41%
可販重(kg/10a)	204	499	326	1028	59%
可販率(%)	83%	59%	49%	59%	

可販重：A品+B品

可販率：(A品+B品)/全重



左：3月9日播種 右：3月20日播種
写真1 生育初期



写真2 生育後期

4 考察

今回の試験では、播種時期を早めることにより、収穫開始時期は7日程度早まったが、は種後の低温期に過湿条件が続いたため立枯れ病の発生割合が高くなった。

今後、生育初期の立枯れ病の発生割合を低下させるためのハウス内の温湿度管理や、生育後半の肥料切れによるイボ果の多発生を抑制し、可販率を向上させるための肥培管理等の検討を行う。

(2) スイートコーンのハウス早熟栽培試験

担当者：武井 龍生

1 目的

“ひろしま活力農業” 経営者育成事業の主要経営品目であるこまつなは、市場入荷量の増加等に伴う価格の低迷が課題となっており、生産コストの削減や流通対策と合わせ、新たな経営品目の拡充が求められている。

スイートコーンは、無加温ハウスにおいて2～3月に定植することで、スイートコーンの市場価格が比較的高く、こまつなの市場価格が低迷する5～6月頃に出荷することができる。また、無加温ハウスをそのまま利用でき、栽培法も簡易であることから代替品目として有望である。

そこで、2品種について栽培し、収量、可販率及び品種特性などを調査する。

2 試験方法

(1) 調査項目

生育期間、収量・可販率

(2) 耕種概要

項目	内容	選定理由等
ア 作 型	ハウス早熟栽培	葉物野菜生産施設の汎用化の確認
イ 品 種	サニーショコラ88 (ヴィルモランみかど) サニーショコラレオ (ヴィルモランみかど)	中早生 黄色種
ウ 栽培施設	ビニールハウス (7m×14m)	
エ 栽植距離	条間 140cm、株間 30 cm、2条×4畝	
オ 栽植面積	60.27 m ² (287株栽植)	
カ 播種	令和5年2月20日	128穴セルトレイ、温床育苗
キ 定植	令和5年3月6日	生分解性マルチ 点滴チューブ 1本/畝
ク 施肥設計	NKエコロング 203-70 9.6 kg/a 追肥これだけ 8.2 kg/a 硫マグ25 3.0 kg/a	生分解マルチ

(3) 管理方法

ア 播種・育苗

播種は、128穴セルトレイを使用し、温室内の温床ベッド内において設定30℃で発芽させた。発芽後は、温床ベッドの設定温度を25～28℃に設定を下げ、2.5葉期の定植苗まで管理した。

イ 温度管理

日中は30℃を目安にハウスを換気した。

ウ 施肥・水管理等

施肥は、省力化のため基肥に被覆肥料を使用し、追肥は行っていない。

灌水は、生育初期は土壌が乾燥しないよう週に1回程度行った。絹糸抽出以降の生育後期は、雌穂の肥大を促すため週2回程度行った。

エ 除けつ、除房、トッピング

除けつ、除房、トッピングは行わなかった。

オ 防除 (対象害虫、回数)

アワノメイガ、タバコガ類、アブラムシ類を対象に雌穂抽出期に1回行った。

カ 収穫・出荷（収穫重量・荷姿）

収穫は、雄穂の開花から20日過ぎから先端部分を剥いて目視で収穫適期を確認し、雌穂の肩が張ったものから収穫した。

調整は、広島県青果物標準出荷規格を参考に、切り口を5cm程度残して切り返し、等級、階級に分けて出荷した。

(4) 出荷規格・品位基準

ア 大小基準

等級	階級	1本重量
A	4L	450g以上
	3L	400g～450g
B	2L	350g～400g
	L	300g～350g
	M	250g～300g
	S	200g～250g

イ 品位基準

A	B
①品種固有の特性を有し、形状、色沢が良好なもの。 ②熟度が乳熟期であるもの。 ③実入り90%以上でしなびのないもの。 ④病虫害、鳥害、腐敗、変質のないもの。	①Aにつぐもの ②実入り80%のもの。 ③頭部にわずかに不稔粒が見受けられるもの。

3 結果

(1) 栽培期間

サニーショコラ88

令和5年2月20日～6月7日（収穫期間：5月31日～6月7日）

サニーショコラレオ

令和5年2月20日～6月7日（収穫期間：6月5日～6月7日）

(2) 可販率

ア 総収量は、サニーショコラ88は56.0kg（1.82t/10a）、サニーショコラレオは50.9kg（1.73t/10a）であった。（表1）

イ 可販物1本当り調整後平均穂重は、サニーショコラ88は381.2gであり、サニーショコラレオは363.6gであった。（表1）

ウ 総収量に対する可販物の割合は、サニーショコラ88で83%、サニーショコラレオで75%であった。（表1）

エ 総収量のうち、調整後穂重が300g以上のものは、サニーショコラ88は95.9%、サニーショコラレオは92.8%であった。（表2）

表1 収量・品質割合

サニーショコラ88

	総数	可販物			規格外
		総数	A	B	
調査本数 (本)	147	122	55	67	25
総収量 (kg)	56.0	47.0	—	—	9.0
10a 当たり換算本数 (本) ※	4761	3952	1782	2170	809
10a 当たり換算重量(kg) ※	1815.1	1522.2	—	—	292.9
調整後平均穂重 (g)	381.2	385.2	—	—	361.6
可販物本数割合 (%)	—	83	37	46	17

※調査本数の面積による換算

サニーショコラレオ

	総数	可販物			規格外
		総数	A	B	
調査本数 (本)	140	105	38	67	35
総収量 (kg)	50.9	39.2	—	—	11.7
10a 当たり換算本数 (本) ※	4,761	3,571	1,292	2,279	1,190
10a 当たり換算重量(kg) ※	1,731.6	1,332.4	—	—	399.2
調整後平均穂重 (g)	363.6	373.1	—	—	335.3
可販物本数割合 (%)	—	75	27	48	25

※調査本数の面積による換算

表2 階級別の割合

		サニーショコラ88		サニーショコラレオ	
階級	1本重量	本数 (うち規格外)	割合 (%)	本数 (うち規格外)	割合 (%)
4L	450g～500g	1 (1)	0.7	2	1.4
3L	400g～450g	19 (1)	12.9	12	8.6
2L	350g～400g	89 (10)	60.5	58 (7)	41.4
L	300g～350g	32 (9)	21.8	58 (21)	41.4
M	250g～300g	6 (4)	4.1	10 (7)	7.2
S	200g～250g	0	0	0	0
S未満	199g以下	0	0	0	0
合計		147 (25)	—	140 (35)	—

4 考察

サニーショコラ88はサニーショコラレオと比べ、収穫開始までの日数は、5日早く出荷ができ、また、可販物本数割合はサニーショコラ88の方が良かった。

以上のことより、サニーショコラ88の方が有望と思われる。

2 果菜類の展示試験

(1) きゅうりの栽培展示

担当者：富田 浩平

1 目的

“ひろしま活力農業” 経営者育成事業の主要経営品目である「こまつな」は、市場入荷量の増加等に伴う価格の低迷が課題となっており、生産コストの削減や流通対策と合わせ、新たな経営品目の拡充が求められている。

本市における施設きゅうり生産は、優れた栽培管理技術と朝穫り出荷等による有利販売を組み合わせることで高い売上高を維持している農家がいることから、生産農家の所得向上が見込める品目である。

そこで、市内農家で栽培実績のある「まりん」について基本的なつる下ろし栽培管理を実践するとともに品質及び収量性を調査する。

2 試験方法

(1) 調査項目

収量・可販率

(2) 目標収量（可販物収量）

11 t / 10 a（広島県農業経営指標 半促成栽培における収量に設定）

(3) 耕種概要

項目	内容	選定理由等
ア 作 型	雨よけ栽培	葉物野菜生産施設の汎用化の確認
イ 整 枝	つる下ろし栽培	整枝方法の簡索性 秀品率の向上
ウ 品 種	まりん（埼玉原種育成会）	多収性品種、うどんこ病抵抗性
エ 栽培施設	ビニールハウス（7m×14m）	
オ 栽植距離	条間 200 cm、株間 50 cm、1 条×2 畝	1,000 株/10a
カ 栽植面積	42 m ² （42 株栽植）	21 株/畝
キ 定植	令和5年4月12日	接ぎ木苗
ク 施肥設計 （基肥）	セラマイティ R 1 10 kg/a やさい有機入り 189 5 kg/a 土肥これだけ S P 5 kg/a オキソパワー 5 5 kg/a	ホオンマルチ BU（マルチ）、かん水チューブ 2 本/畝
ケ 施肥設計 （追肥）	トミー液肥 ブラック トミー液肥 グリーン	

(4) 管理方法

ア 主枝は、誘引ひもに固定し、22節程度（肩の高さ）で摘心した。下位10節の側枝及び花芽は、順次早めに除去した。

11～22節から出る一次側枝は1～2節で摘心し、11～15節から発生した第二次側枝のうち、草勢の強い4本を収穫枝とし、3～5節で連続摘心しながら伸長させた。

イ 施肥・水管理

施肥は、基肥に緩効性肥料を使用し、初期の追肥の省力化を行った。6月中旬より、生育に合わせて液肥を週に10程度かん水時に混入した。

水管理は、活着までは乾燥を避け、生育が旺盛になり着果量が増加するにつれ徐々に灌水量を増やした。

ウ 防除（対象病虫害、防除間隔、回数）

対象病害は、うどんこ病、べと病、灰色かび病、斑点細菌病等

対象虫害は、アブラムシ、アザミウマ類、ヨトウムシ、コナジラミ等

防除は月に2週間に1回程度、合計10回行った。

エ 収穫・出荷（収穫重量、荷姿）

収穫重量は、Lサイズ（100g/果）を基本とし、80g～120g程度で収穫を行い、品位基準に基づき選別を行った。

収穫は、5月中は朝1回のみで、6月からは朝夕の2回行った。

(5) 出荷規格・品位基準

ア 大小基準

等級	階級	1本の長さ	1箱の本数（5kg）
A ・ B	2L	23cm以上	37本～40本
	L	21cm～23cm	42本～47本
	M	19cm～21cm	52本～57本
	S	16cm～19cm	60本～65本

イ 品位基準

A	B
①品種固有の形状を有し色沢良好なもの。 ②肩おち、尻太り、尻細りがないもの。 ③病虫害、傷害がないもの。 ④腐敗、変質していないもの。 ⑤曲がりの程度が2L・L・Mで1.5cm以内、Sで1cm以内であるもの。 ⑥清浄で新鮮なもの。	①Aに次ぐもの。 ②肩おち、尻太り、尻細りが目立たないもの。 ③病虫害、傷害が目立たないもの。 ④同左。 ⑤曲がりの程度が2L・L・Mで3cm以内、Sで2cm以内であるもの。 ⑥同左。

3 結果

(1) 栽培期間

令和5年4月12日～8月31日

(2) 収穫調査期間

令和5年5月15日～8月31日

(3) 収量

ア 収量は、目標収量11t/10aに対し、13.1t（目標の119%）となり目標収量を達成することができた。（表1）

イ 可販率(A品+B品)は、総収量のうち64%となった。（表1）

ウ 月別の品位別収量は、生育初期の6月が一番高くなったが、収穫枝が決まった7月、8月と安定した収量を確保することができた。

表1 総収量・品位別収量・可販物重・10a当たりの換算重及び可販率（換算値）

	総収量		A品		B品		可販物(A+B)		可販率 (A+B)
	本数 (本)	重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	率 (%)
実栽培面積 (42 m ²)	8,591	872	4,086	408	1,414	144	5,500	552	64
換算重 (kg/10a)	204,548	20,762	97,286	9,714	33,667	3,429	130,952	13,143	

可販物：A品+B品 可販率：(A品+B品) / 全重

表2 月別の品位別収量

	正常果 (A品)		曲がり (B品)		その他 (C品、外品)		総収量	
	本数 (本)	重量 (g)	本数 (本)	重量 (g)	本数 (本)	重量 (g)	本数 (本)	重量 (g)
5月	524	53,551	169	18,565	105	10,244	798	82,360
6月	1,600	163,201	638	66,528	1,124	118,955	3,362	348,684
7月	925	89,818	361	35,339	856	88,268	2,142	213,425
8月	1,037	101,447	246	23,618	1,006	102,781	2,289	227,846
合計	4,086	408,017	1,414	144,050	3,091	320,248	8,591	872,315



写真1 栽培風景



写真2 果実

(2) ピーマンの一本仕立て栽培展示

担当者：為永 安保

1 目的

“ひろしま活力農業” 経営者育成事業の主要経営品目である「こまつな」は、市場入荷量の増加等に伴う価格の低迷が課題となっており、生産コストの削減や流通対策と合わせ、新たな経営品目の拡充が求められている。

施設ピーマンは、主要野菜の中で10a当たりの所得が高い品目とされており（農林水産省資料）、作業性が高い効率的な栽培方法が確できれば、生産農家の所得向上が期待できる。

特に、夏秋ピーマンの1本仕立て栽培は、主枝の誘引作業が省力化でき、作業空間の確保が容易となるため、収穫作業の負担軽減、作業時間の短縮が可能とされている。

そこで、ピーマンの1本仕立てによる栽培展示を行う。

2 調査方法

(1) 調査項目

収量

(2) 目標収量（調整重）

15 t / 10a(大分県新規就農研修の収量目標を採用)

(3) 耕種概要

項目	内容	選定理由等
ア 作 型	夏秋・ビニールハウス栽培	葉物野菜生産施設の汎用化の確認
イ 整 枝	一本仕立て	整枝方法の簡索性 収穫作業の効率性の確認
ウ 品 種	京鈴（タキイ）	一般市場流通品種
エ 栽培施設	ビニールハウス（7m×14m）	
オ 栽植距離	条間 150 cm、株間 50 cm 1条×2畝	2,116株～2,381株/10a
カ 栽植面積	各区 29.54 m ²	（大分県での栽培試験密度）
キ 播種	令和5年1月23日	72穴セルトレイ、温床育苗
ク 定植	令和5年3月27日	鉢上げ1回（12cmポット）
ケ 施肥設計 （基肥）	エコロング 413-180 20 kg/a 基肥これだけ 10 kg/a	植溝 70 cmを深耕、黒マルチ、点滴 チューブ 2本/畦
コ 施肥設計 （追肥）	くみあい液肥 2号 適宜 500倍希釈	

(4) 管理方法

ア 整枝（捻枝、摘心位置、側枝の管理）

第1分枝節から発生する2～3本の枝のうち主枝を1本残し、主枝とする枝以外は節間で捻枝した。摘心位置は約1.7mで行い、下部の側枝は5～6節で、上部の側枝は3～4節で摘心し、樹形状になるようにした。

イ 施肥・水管理

ロング肥料を使用し、追肥の省力化を図った。

水管理は活着まで乾燥を避け、生育が旺盛になり着果量が増加するにつれ灌水量を増やした。

7月中旬からは灌水時にくみあい液肥2号を500倍程度に薄め、適宜追肥を行った。

ウ 防除（対象病害虫、防除間隔、回数）

対象病害は、うどんこ病、黒枯病、炭疽病、斑点病、灰色かび病等
対象虫害はタバコガ、ヨトウムシ、ハダニ、カメムシ等
防除は2週間に1回程度、合計12回行った。

エ 収穫・出荷（収穫重量、荷姿）

収穫重量は25g～50g程度で収穫を行い。出荷は150g/袋で行った。

3 結果

(1) 栽培期間

令和5年3月27日～12月18日

(2) 収穫調査期間

令和5年5月22日～12月18日

(3) 収量・上物率

ア 出荷物の全重は、293.1kgであった。

イ 10a当たりの調整重の換算値は、9750.2kgであった。

表 月別の実出荷量及び10a当たり換算の調整重（換算値）

調査項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
実出荷量 (kg)	3.8	62.4	65.1	42.5	29.9	53.6	28.1	7.7	293.1
換算出荷量 (kg/10a)	124.9	2077.9	2167.8	1413.6	994.0	1783.2	934.1	254.7	9750.2

(3) 露地なすの栽培展示

担当者：池田茂・吉見佳穂

1 目的

露地なす栽培は、水田での露地活用が可能であるとともに夏秋を通じて安定した需要（消費）が見込まれる品目であることから、市内各地で栽培されており、特に安佐南区川内地区（丸なす）や安佐北区白木町（長なす）等では古くからの特産野菜となっている。

このため、こまつな等施設葉物野菜を主要な経営品目としている新規就農者等の所得向上を図るための規模拡大による露地の活用を想定し、露地なす栽培の基本的な栽培管理を実践するとともに品質及び収量性を調査する。

2 調査方法

(1) 調査項目

収量・可販重、可販率

(2) 目標収量（可販重A・B品）

8.4 t / 10a (広島県経営指標 品種：筑陽)

(3) 耕種概要

項目	内容	選定理由等
ア 作型	露地栽培	
イ 整枝	三本仕立て	
ウ 品種	中長なす 筑陽（タキイ種苗） 大長なす ふわとろ長（丸種）	
エ 栽培施設	露地ほ場	
オ 栽植距離	中長なす 畦幅200cm×株間70cm 大長なす 畦幅200cm×株間100cm	
カ 栽植面積	各区 24 m ²	
キ 定植	令和5年5月9日	黒マルチ被覆・接ぎ木苗
ク 施肥設計 (基肥)	野菜有機189：15kg/a NKエコロング203（140日タイプ）8kg/a マリンカル15kg/a	
ケ 施肥設計 (追肥)	くみあい液肥2号 適宜	

(4) 管理方法

ア 整枝（摘心位置、側枝の管理）

主枝と1番花の下2節から出る脇芽による3本仕立てとする。3本は約150cm（作業者が整枝・収穫・防除作業を容易に行うことができる高さ）で摘心する。3本の枝から出る側枝は、1花着いたら摘心（花の上1から2枚の葉を残す）するように努めるとともに、収穫時に切り戻しを行った。

イ 施肥・水管理

ロング肥料を使用し、追肥の省力化を図った。

水管理は活着までは乾燥を避け、生育が旺盛になり着果量が増加するにつれ灌水量を増やした。

7月中旬からは灌水時にくみあい液肥2号を500倍程度に薄め、適宜追肥を行った。

ウ 防除（対象病害虫、防除間隔、回数）

対象病害は、うどんこ病、褐紋病、灰色かび病等

対象虫害は、テントウムシダマシ、カメムシ類、アブラムシ、ヨトウムシ、アザミウマ類、ハダニ等

防除は、定植時の土壌施用剤、6月中旬から10日に1回程度、合計23回行った。

エ 収穫・出荷（収穫重量、荷姿）

筑陽はM（16 cm）以上を目途に収穫し、A品・B品混合でバラ出荷した。

ふわとろ長は、L（28 cm）以上を目途に収穫し、A品・B品混合でバラ出荷した。

3 結果

(1) 栽培期間 令和5年5月9日～10月23日

(2) 収穫調査期間 令和5年6月23日～10月23日

(3) 収量（可販重）・可販率・A品率

ア 筑陽の可販重（10a換算）は、8,917 kg、可販率81%、A品率54%であった。

イ ふわとろ長の可販重（10a換算）は、8,302 kg、可販率88%、A品率50%であった。

表 品種別、月（上期・下期）別の収量、可販重及び可販率 【重量は10a当たり換算】

区分	調査項目	6下	7上	7下	8上	8下	9上	9下	10上	10下	合計
筑陽	全重 (kg/10a)	127	1,209	1,681	1,316	2,104	1,759	1,387	770	609	10,962
	A品 (kg/10a)	23	543	837	640	1,287	1,039	1,040	405	153	5,965
	B品 (kg/10a)	35	286	600	369	494	433	272	259	205	2,952
	可販重(kg/10a)	58	829	1,436	1,009	1,780	1,471	1,312	664	358	8,917
	可販率 (%)	46%	69%	85%	77%	85%	84%	95%	86%	59%	81%
	A品率 (%)	18%	45%	50%	49%	61%	59%	75%	53%	25%	54%
ふわとろ長	全重 (kg/10a)	43	956	1,459	1,060	1,622	1,733	1,238	627	663	9,401
	A品 (kg/10a)	8	468	623	536	857	951	745	277	206	4,670
	B品 (kg/10a)	0	234	625	418	663	617	448	301	326	3,631
	可販重(kg/10a)	8	702	1,248	954	1,520	1,568	1,193	578	532	8,302
	可販率 (%)	19%	73%	86%	90%	94%	91%	96%	92%	80%	88%
	A品率 (%)	19%	49%	43%	51%	53%	55%	60%	44%	31%	50%

可販重：A品+B品

可販率：(A品+B品)/全重

A品率：A品/全重



写真 栽培風景

3 令和5年度土壌分析実績

(1) 農家ほ場の土壌分析

【認定農業者・認定新規就農者】

地 区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
東西南中区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安佐南区													
佐東	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
安古市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
祇園	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
沼田	0	0	10	0	0	0	4	0	0	0	0	0	14
安佐北区													
白木	38	6	27	45	41	57	42	50	43	13	3	38	403
高陽	1	5	0	0	0	0	4	0	0	0	9	0	19
可部	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
安佐	0	44	31	0	0	0	0	0	12	43	0	11	141
安芸区	0	1	4	0	5	5	4	5	5	2	4	2	37
佐伯区	4	7	6	4	3	0	0	10	0	0	0	4	38
合計	43	63	88	49	49	62	57	66	60	58	16	55	666

【一般農家】

地 区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
東西南中区	9	1	3	0	1	3	2	0	7	17	6	6	55
安佐南区													
佐東	7	21	0	2	0	8	3	0	0	7	1	9	58
安古市	10	0	0	0	0	4	2	3	0	0	7	7	33
祇園	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	4
沼田	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
安佐北区													
白木	1	0	9	9	4	0	0	0	4	5	0	10	42
高陽	26	0	0	0	0	0	0	1	6	2	6	15	56
可部	4	0	0	6	0	3	0	1	5	0	4	1	24
安佐	6	3	22	0	9	7	0	0	3	1	5	11	67
安芸区	4	2	2	0	0	21	0	0	0	1	32	0	62
佐伯区	11	0	7	0	2	0	1	20	0	0	6	1	48
小計	78	27	43	17	17	46	8	25	26	35	67	61	450

(2) 試験研究用分析

地 区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
センター内	4	10	19	9	9	17	10	9	14	7	17	9	134
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	4	10	19	9	9	17	10	9	14	7	17	9	134

4 最新の栽培技術等の実証展示

(1) 環境モニタリングシステム・生産管理システムの運用

1 目的

近年、全国的に農業分野へのICT技術の導入が進みつつあり、導入による農業生産性の大幅な向上が期待されているところである。

このため、“ひろしま活力農業” 経営者を含む広島市内の認定農業者等においても、ICT技術を導入し、①栽培履歴記録、②栽培環境の見える化を行うことで、効率化、高品質化等を図り、競争力の高い農業を目指す必要がある。

2 事業概要

(1) 環境モニタリングシステム：みどりモニタ（株式会社セラク）
温度や土壌水分など、ほ場の環境をデータ化する（1棟で実施）

(2) 実施内容

作業内容及びほ場環境のデータ等を分析することにより、現在の生産方法を見直し、より効率的な生産方法の確立を目指す。

(3) 実施イメージ

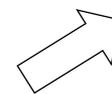
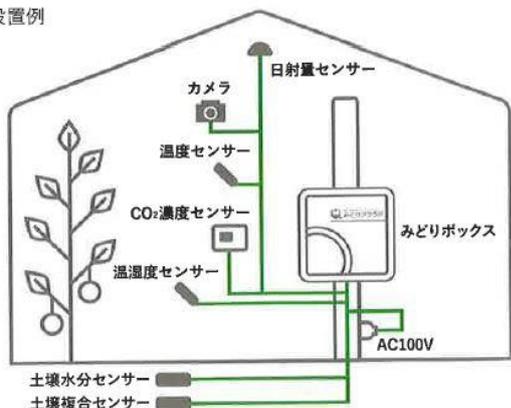
生産管理システム（作業内容をパソコンで入力）



データ入力

環境モニタリングシステム（ほ場環境を測定し自動記録）

設置例



データ自動送信



土壌水分センサー



パソコンでデータを検証し、
生産方法を改善

(2) J G A P 認証取得 (こまつな、みずな、ほうれんそう、しゅんぎく)

【認証の種類】 個別認証

【認証基準・分類】 J G A P 農場用 管理点と適合基準 青果物 2022

【認証品目・出荷形態】 こまつな、みずな、ほうれんそう、しゅんぎく

【セクター】 栽培・収穫・取り扱い

【農産物取扱施設】 公益財団法人広島市農林水産振興センター集出荷施設

【登録番号】 340000046

【移転受入日】 2023年(令和5年)1月22日

【更新認証日】 2023年(令和5年)1月22日

【有効期限】 2025年(令和7年)1月21日

【審査機関】 一般社団法人日本能率協会審査登録センター

東京都港区芝公園 3-1-22 p

5 直売所向けの野菜・花きの栽培展示 43品目

凡例 ○:播種 △:定植 □:収穫

栽培圃場	品目	品種	は種(定植)(月)	収穫時期(月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	栽植距離(cm)				施肥量(N量)(kg/a)		備考						
					畝間	株間	条間	条数	基肥	追肥																			
ア	トマト	桃太郎はるか	3中(5上)	6~8		△										○	150	40	-	-	1.2	1.4	防獣柵						
	ミニトマト	プレミアムルビーイエローミミ				△																		○					
イ	きゅうり	フェルナンデスシャキット(四川系)	4上(5上)	6~8		○△											150	70	-	-	2.0	2.5	黒マルチ						
イ		フェルナンデスできすぎなるなる	6上(7上)	8~9			○△																50						白黒マルチ
イ		フェルナンデスなるなるZUTTO	7中(8中)	9~10				○△																					
ウ	ショウガ	大生姜	4中	10~11		△											135	50	30	2	1.0	1.0	千鳥、深植						
イ	かぼちゃ	栗将軍	4上(5上)	7~8		○△			□								500	100	-	-	1.0	0.6	防草シート 防獣柵						
ア	ズッキーニ	ダークキングマン 黄まんぼう	3中(4中)	5~6		△											135	80	-	-	1.5	1.2※	黒マルチ						
ア	にがうり	節成ゴーヤー280	4中(5下)	7~10		○△											150	100	-	-	1.5	2※	黒マルチ						
ア	なす	P C筑陽(中長)	(5上)	6~10		△											200	70	-	-	2.0	3※	敷きワラ						
		P C鶴丸、ラクロ(卵)	(5下)			△																							
		ふわとろ(長)	(5上)			△									100														
イ	ピーマン	京鈴(中)	1中(4下)	6~10		△										○	135	60	40	-	2.0	3※	千鳥、敷きワラ						
		ちぐさ(大)	3中(5中)	6~10		△										○													
イ	甘長トウガラシ	福耳ジロー	3中(5中)	6~10		△											135	60	40	-	2.0	3※	千鳥、敷きワラ						
イ	ししとう	シシトウ	3中(5中)	6~10		△											135	60	40	-	2.0	3※	千鳥、敷きワラ						
ウ	タカノツメ	タカノツメ	2中(4下)	9~10		△											100	40	-	-	2.0		敷きワラ						
ア	にら	広巾ニラ	-	6~11													120	30	40	2	1.5	1.2	○株分け						
イ	ねぎ	ホワイトスター なべちゃんゴールド	4上(6上)	12~2		○		△									120	3~5	-	-	1.0	1.8							
		赤ひげ																120	15	-	-								
イ	スイートコーン	ほしつぶコーン	4上(4中)	6下~7上		○△											135	30	30	2	1.5	0.5	初期ユーラック タマネギマルチ						
		ゴールドラッシュ90	5上(5下)	7上中		○△										40												黒マルチ	
オ	オクラ	ヘルシエ エメラルド 大奥	4下	7~9		○											135	10	-	-	1.0		敷きワラ						
採種	オクラ	広島おくら	4下	7~9		○											135	10	-	-	1.0		敷きワラ						
ア	えだまめ	早生緑大莢	3中・下(4上・中)	6		△											135	20	35	2	0.5	0.4	初期ユーラック						
		神風香	4上・下(4下・5上)	7上		○△																							
		湯あがり娘	5上(5中)	7下		○△																							
		黒真珠	5中(5下)	8上		○△																							
採種	一本草枝豆(採種用)	6中(6下)	10中			○△										80	60	-	-	0.5	0.4								
ウ	じゃがいも	キタアカリ ホッカイコガネ アンデスレッド	(3中)	6													90	30	-	-	0.7	0.5	3上催芽処理						
ウ		デジマ アンデスレッド	(9上)	11					△							8下催芽処理													
ウ	さといも	深川早生 深川芋 赤芽大吉 土垂	(5中)	9~12		△											130	40	-	-	1.5	0.6							
ウ	さつまいも	鳴門金時ほか	6上	10下		△											90	30	-	-	-	-							
ア	にんじん	向陽2号	4中	7~8		○											135	10	30	2	1.2	0.8							
ウ		向陽2号 京くれないEX 甘美人 アロマレッド	8下	11~12						○																			

栽培圃場	品目	品種	は種(定植)(月)	収穫時期(月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	栽植距離(cm)				施肥量(N量)(kg/a)		備考
					畝間	株間	条間	条数	基肥	追肥													
イ	キャベツ	輝 新藍	7下(8中)	11					○△	□							135	40	40	2	1.8	1.2	
イ		キャンディレッド甘藍	8上(9上)	12~1					○△	□							135	40	40	2	1.8	1.2	
ウ		あまだま とくみつ	8中(9中)	1~2					○△	□							135	40	40	2	1.8	1.2	
オ		湖水 湖月SP	10下(2下)	5	□						○					△	135	40	40	2	1.8	1.2	
イ	さやいんげん	サクサク王子ネオ	8上・中	10~11					○	□							135	20	40	2	1.2	1.0	1回目ポットは種 2回目直播
イ	レタス	スターレイ	8下(9中)	10					○△	□							135	30	30	2	2.0	0.5	黒マルチ ユーラック
イ	リーフレタス	ワインドレス	3中(4上)	5	△	□										○	135	30	30	2	2.0	0.5	黒マルチ 防虫ネット
		グリーンジャケット	8下(9中)	10					○△	□							135	30	30	2	2.0	0.5	黒マルチ 防虫ネット
イ	コスレタス	晩抽ロマリア	8下(9中)	10					○△	□							135	20	25	2	2.0	0.5	ユーラック
イ	広島菜	在来種	9下	11~12						○	□						135	40	40	2	1.0	1.2	
イ	白菜	CRお黄にいり	8上(8下)	10					○△	□							135	25	40	3	1.0	0.4	密植栽培
		黄ごころ65	8上(8下)	10					○△	□								40	40	2	1.0	0.6	高畦、マルチ
		黄ごころ75	8中(9上)	11					○△	□								40	40	2	1.0	0.6	高畦、マルチ
		紫奏子	8中(9上)	11					○△	□								40	40	2	1.0	0.6	高畦、マルチ
		ほまれの極み 冬月90	8下(9中)	1~2					○	□						135	40	40	2	1.0	1.2		
ア	ブロッコリー	おはよう	7下(8中)	11					○△	□							135	40	40	2	1.5	1.2	
		ブロフローレ65	8中(9上)	12~1					○△	□													
		こんにちは	8下(9中)	1~2					○△	□													
ア	茎ブロッコリー	スティックセニョール	7下(8中)	11~1					○△	□						135	40	40	2	1.5	1.2		
ア	カリフラワー	カリフローレ70	7中・7下(8中・8下)	10					○△	□							135	40	40	2	1.5	0.8	2回に分けて
ウ		ダ・ヴィンチ	7下(8中)	12~1					○△	□							135	40	40	2	1.5	0.8	
採種	だいこん(採種)	笹木三月大根	9下	3						○	□						135	30	40	2	0.6	1.4	
ア	だいこん	三太郎	9上・中	11~1						○	□						135	30	30	2	1.2	0.6	2回に分けて
		とろっ娘	9上・中								○	□											
		YR味づくり	9上・中								○	□											
		冬みね	9下							○	□												
A-1		春宴	12中	4~5	□											135	30	30	2	1.2	0.6		
イ	かぶ	耐病ひかり 早生大蕪 もものすけ サラダ・ラティエノ	9中・10上	11~12						○	□						135	10	30	2	1.5	0.6	
ア	ピーツ	ゴルゴ ルナ ソーレ	9中	12						○	□						135	10	20	3	1.0	0.4	
A-1	ケール	カリノケールCG カリノケールロッソ	7下(9上)	10~3					○△	□							135	40	-	-	1.0	1.2	敷きワラ
イ	コールラビ	コラビグリーン ユラビレッド	8上(8下)	10					○△	□							135	10	30	2	1.0	0.2	
イ	みずな	晩生千筋京水菜	10中(10下)	12~1						○△	□						135	15~30	15~30	2~4	1.2	0.4	
イ	しゅんぎく	大葉種	10上(10下)	12~1						○△	□						135	10	30	2	1.5	0.6	
ア	未成熟そらまめ	陵西一寸	10下(11下)	5~6	□						○△						135	40	-	-	1.0	0.2	
ア	スナップエンドウ	スナック753 グルメ	10下(11下)	4~5	□						○△						150	40	-	-	1.0	0.3	
ア	実えんどう	うすい	10下(11下)	4~5	□						○△						150	40	-	-	1.0	0.3	
ウ	葉たまねぎ	貴錦	8下(10中下)	2~3						○	△						135	15	15	4	1.0	0.8	
ウ	たまねぎ	貴錦	9上(11上)	3~4						○	△						135	15	15	5	1.0	1.0	玉ネギマルチ
		OK黄 アトン ノンクーラー	9中下(11中)	6	□						○	△											

凡例 ○:播種 △:定植 □:収穫

品目	品 種	は種 (定植) (月)	収穫 時期 (月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	栽植距離 (cm)				施肥量 (N量) (kg/a)		備考
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	畝間	株間	条間	条数	
8月咲き小菊	かなえ、こなつ、すいれん、 夏祭り、流星、こずえ	4月下	8		△	—	—	□								120	20	40	2	1	0.4	冬至芽
9月咲き小菊	ななみ、しずく、あきつ	5月上	9		△	—	—	□								120	20	40	2	1	0.4	冬至芽
10月咲き小菊	みわく、聖夜、飛翔、 福寿、あきひめ	5月中	10		△	—	—	□								120	20	40	2	1	0.4	刺芽
11月咲き小菊	花の里、ほしぞら、かがやき	5月下	11		△	—	—	□								120	20	40	2	1	0.4	
12月咲き小菊	夢ほまれ、銀水晶、寒あさひ、 細雪、夢ロマン、金の女、 夢月花、銀の祝、山手祝	6月中	12			△	—	—	□							120	20	40	2	1	0.4	刺芽 ハウス
葉ボタン	晴姿、恋姿	7下 (8下)	12				○	△	—	□						120	15	15	4	0.5	0.4	種子
ユーカリ	銀世界、デシビエンス		4~12													120		80	1		0.4	花木

Ⅱ 園芸バイオ技術による野菜や花き等の優良種苗の生産供給

1 園芸バイオテクノロジー導入事業の概要

(1) 目的

バイオ技術を導入し、野菜や花きの地域特産物を対象に優良種苗を生産・普及し、生産性の高い産地の育成を図る。

(2) 実施期間

昭和 61 年度～

(3) 事業内容

- ① 生長点培養技術を活用し野菜・花きのウイルスフリー化による品質及び生産力の向上
- ② 大量増殖技術を利用した種苗の安定供給

(4) 方針

- ① 認定農業者、生産農家等にバイテク苗を供給し、経営の安定化を図る。
- ② 指導機関と連携して、農家での積極的な活用を図ることにより、産地の維持・発展を図る。

対象者：市域内の認定農業者、生産農家等

(5) 実績

実施区分	品 目	供給先 (R 5 年度)
苗の生産・供給	さつまいも 1, 440株	西区
	水フキ 100株	佐伯区
	すいぜんじな 150株	安佐南区、安佐北区
	うるい 100株	安佐北区
計	1, 790株	—

(6) 継代品目

ふき、さつまいも、すいぜんじな、うるい、イチゴ、ダリア

(7) 茎頂採取・増殖品目

さつまいも、さといも

2 苗の生産サイクル

(1) ふき

10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		S						J	==		

品 種 : 水ブキ

(2) さつまいも

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
				S					J		==

品 種 : 鳴門金時、ベニアズマ、種子島紫、コガネセンガン、ベニハヤト

(3) すいぜんじな

10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	S				J		==				

(4) うるい

10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
S					J		==				

凡例 S : 増殖開始 J : 順化 == : 出荷

Ⅲ 新規就農者等の研修指導

1 “ひろしま活力農業” 経営者育成基礎研修

1 目的

広島市農業の将来を担う優秀な人材を育成するため、栽培技術等の研修を行うとともに、農地のあつせんを行い、他産業並みの所得が確保できる若い活力ある農業経営者を育成することで、その経営者を核に、地域農業・農村の活性化と広島市民へ新鮮で安全な葉物野菜の安定供給を図ることを目的とする。

2 研修期間

26期生：1名

研修期間：令和5年4月～令和6年3月 うち8月1日～9月5日 農家派遣研修

3 研修内容

(1) 学科カリキュラム

栽培に必要な基礎知識と経営管理の能力を養う。

- ・ 野菜栽培の基礎
- ・ 土壌、肥料
- ・ 病害虫
- ・ 施設園芸
- ・ 農業経営
- ・ 流通

(2) 実習カリキュラム

葉物野菜の圃場準備から出荷・片付けまでの一貫した作業を行うことにより、栽培技術や経営技術を習得する。(研修ほ場：広島市農業振興センター内 パイプハウス1a×15棟、ガラス室1a×2棟)

- ・ 土壌管理
- ・ ハウス管理
- ・ 栽培管理
- ・ 出荷調整
- ・ 農業機械の保守と使用方法
(運搬車、トラクター、管理機、は種機、防除機、袋詰め機、予冷库等)
- ・ 栽培実績

品目：こまつな、ほうれんそう、しゅんぎく、みずな、ねぎ、小カブ、葉だいこん、小京菜、しろな、チンゲンサイ

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
作付回数	3	6	8	4	4	9	7	5	4	5	3	2	60回
出荷回数	11	10	17	14	14	12	15	15	17	12	14	12	163回
出荷数量	85	93	156	87	71	69	134	163	76	79	130	102	1,245箱

(3) 視察調査

市内優良農家、先輩活力就農者のほ場視察

ハウス番号	品目	品種	播種日	株間、条間	収穫日	収量(束、袋)	栽培期間(日)	備考
1	こまつな	いなむら	4月13日	株間 5.5cm	5月11日～18日	477	28～35	シロさび病一部発生
		さくらぎ		条間 18cm	5月10日～18日	566	27～35	
	ほうれんそう	晩抽サマーヒット	5月30日	株間 6cm	7月11日	122	42	ケナガコナダニの被害なし
		ジャスティス		条間 18cm	6月27日～7月5日	324	28～36	
	ほうれんそう	タフスカイ	7月27日	株間 7cm	9月14日～19日	143	49～54	タフスカイの一部に抽苔
		ジャスティス		条間 18cm	9月20日～21日	143	55～56	
	ほうれんそう	吉兵衛	9月27日	株間 6cm	11月7日～8日	349	41～42	
		オシリス		条間 18cm	11月6日	229	40	
こまつな	はまつつき	12月1日	株間 5.5cm	2月7日～13日	485	68～74	葉柄のバンクー一部発生、高温により葉の傷み減収	
	さくらぎ		条間 18cm	2月9日～15日	683	70～76		
こまつな	株張わかな	3月13日	株間 5.5cm					
	さくらぎ		条間 18cm					
2	ほうれんそう	プリウスベーター	5月12日	株間 6cm	6月13日	77	32	発芽不良、立ち枯れ多い、尻腐れ多い、ケナガコナダニの被害なし
		ジャスティス		条間 18cm	6月13日～15日	157	32～34	
	こまつな	夏蒼天	7月14日	株間 6cm	8月21日～25日	256	39～43	葉色(夏蒼天>さくらぎ) アブラムシ、キスジノミハムシ
		さくらぎ		条間 18cm	8月16日～17日	351	33～34	
	こまつな	夏蒼天	8月31日	株間 7cm	9月29日	155	29	葉色、生育差なし 欠株、ハイマダラノメイガ被害により減収
		真夏の四番打者		条間 18cm		179		
	こまつな	さくらぎ	10月6日	右:株間 15cm 左:株間20cm	11月7日～13日	947	32～38	株間 5.5cm
		菜々子		11月24日	株間 5.5cm	1月26日～2月1日	467	
こまつな	さくらぎ	3月7日	株間 5.5cm					葉柄のバンクー一部発生、
	神楽坂		条間 18cm					
3	こまつな	春のセンバツ	4月20日	株間 5.5cm	5月24日～29日	922	34～39	シロさび病一部発生
		さくらぎ		条間 18cm	5月19日～23日	857	29～33	
	ほうれんそう	晩抽サマーヒット	6月14日	株間 6cm	7月25日	9	41	萎凋病多発(晩抽サマーヒットのほうが多い)
		ジャスティス		条間 18cm		44		
	こまつな	株張わかな	9月26日	株間 5.5cm	10月24日	598	28	
		さくらぎ		条間 18cm	10月26日	762	30	
	こまつな	さくらぎ	11月14日	株間 5.5cm	1月11日処分	—	—	炭疽病と思われる病気多発出荷不能により処分
		さくらぎ		条間 18cm		—		
4	ほうれんそう	タフスカイ	5月2日	株間 6cm	6月2日～5日	328	31～34	タフスカイに抽苔が目立つ
		ミラージュ		条間 18cm	5月31日～6月5日	352	29～34	
	ほうれんそう	晩抽サマーヒット	6月23日	株間 7cm	—	—	—	草丈が伸びず、収穫できず。8月31日に処分
		ジャスティス		条間 18cm	—	—	—	
	チンゲンサイ	武帝	9月29日	右:株間 10cm	11月7日～16日	670	39～48	シャオバオ収穫適期過ぎ
		シャオバオ		左:株間 6cm	11月6日～14日	918	38～46	
ほうれんそう	スーパーセーブ	12月4日	株間 6cm	2月14日～22日	520	72～80	ケナガコナダニの被害ほとんどなし	
	ピンドン		条間 18cm	2月14日～21日	581	72～79		
12	こまつな	のりちゃん	5月8日	株間 5.5cm	6月7日～8日	412	30～31	「のりちゃん」に尻腐れ多い
		さくらぎ		条間 18cm	6月5日～6日	547	28～29	
	こまつな	ひと夏の恋	6月20日	株間 6cm	7月24日～25日	257	34～35	「さくらぎ」に尻腐れ多い、生育(ひと夏の恋<さくらぎ)
		さくらぎ		条間 18cm	7月18日～21日	204	28～31	
	こまつな	ひと夏の恋	8月2日	株間 7cm	9月4日～5日	343	33～34	「ひと夏の恋」に尻腐れ多い、生育(ひと夏の恋<さくらぎ)
		さくらぎ		条間 18cm	8月30日～9月1日	331	28～30	
	ほうれんそう	タフスカイ	9月7日	株間 7cm	10月11日	72	34	発芽むらと立ち枯れによる欠株により減収
		ミラージュ		条間 18cm	10月10日	96	33	
	こまつな	秋冬のエース	10月19日	株間 5.5cm	11月20日～12月4日	281	32～46	アブラムシ発生減収
		さくらぎ		条間 18cm	11月21日～12月4日	419	33～46	
	こまつな	冬里	12月26日	株間 5.5cm	2月26日～29日	540	62～65	生育(冬里>さくらぎ)
		さくらぎ		条間 18cm	2月29日～	488	65～	

ハウス番号	品目	品種	播種日	株間、条間	収穫日	収量(束、袋)	栽培期間(日)	備考
13	こまつな	里きらり	5月15日	株間 5.5cm	6月15日～19日	450	31～35	草丈は伸びすぎないが、一部節間伸長
		さくらぎ		条間 18cm	6月12日～15日	576	28～31	
	こまつな	国芳	6月29日	株間 6cm	8月3日～4日	433	35～36	
		さくらぎ		条間 18cm	7月31日～8月1日	463	32～33	
	こまつな	真夏の四番打者	8月25日	株間7cm	9月26日～27日	342	32～33	葉色(真夏の四番打者>さくらぎ)
		さくらぎ		条間 18cm	9月20日～26日	323	26～32	生育(真夏の四番打者<さくらぎ)
	しゅんぎく	鯉城大葉(コート種子)	10月3日	株間7cm、条間 18cm	11月13日～17日	112	41～45	収穫の期過ぎにより廃棄
自家採種(R4)		8月30日	株間10cm、条間 25cm	11月7日	2	69		
こまつな	さくらぎ	12月12日	条間 15cm	2月22日～3月1日	672	72～80	株間 5.5cm	
			条間 18cm	3月4日～7日	633	83～86	株間 5.5cm	
14	こまつな	里しずく	4月28日	株間 5.5cm	5月30日～6月1日	490	32～34	「里しずく」は「さくらぎ」より葉柄が折れやすい
		さくらぎ		条間 18cm	5月29日～6月1日	682	31～34	
	こまつな	乃木坂	6月9日	株間 5.5cm	7月10日～13日	529	31～34	
		さくらぎ		条間 18cm	7月6日	359	27	
	こまつな	夏蒼天	8月10日	株間7cm	9月11日～13日	350	32～34	生育(夏蒼天<さくらぎ) 葉色(夏蒼天>さくらぎ)
		さくらぎ		条間 18cm	9月5日～6日	362	26～27	キスジノミハムシ、ハイマダラノメイガ 被害により減収
	こまつな	株張わかな	9月26日	株間 5.5cm	10月31日～11月1日	335	35～36	ヨトウの食害により減収
		さくらぎ		条間 18cm	10月27日～31日	638	31～35	
	こまつな	江戸の小町	11月20日	株間 5.5cm	1月10日～15日	375	51～56	
		さくらぎ		条間 18cm	1月13日～25日	310	54～66	
こまつな	はっけい	2月27日	株間 5.5cm					
	さくらぎ		条間 18cm					
15	ミズナ	夏白泉	9月8日	株間7cm	10月17日～18日	250	39～40	株張り 京だより>夏白泉
		京だより		条間 18cm	10月13日～16日	421	35～38	生育 京だより>夏白泉
	ほうれんそう	スーパーセーブ	10月31日	株間6cm	1月5日～18日	244	66～79	ケナガコナダニ被害が一部(両入口付近で乾燥気味な所)に発生、株の中心部が変色、葉の奇形はなし、
		ピンドン		条間 18cm	12月27日～1月15日	181	57～76	
こまつな	雪美坂	2月2日	株間4cm	3月19日～22日	309	46～49日		
	さくらぎ		条間 18cm					
16	ミズナ	京すだれ	6月16日	株間 7cm	7月12日～19日	100	26～30	尻腐れ多い、「京すだれ」節間伸長多い、株張りは、「京だより」>「京すだれ」
		京だより		条間 18cm	7月11日～18日	218	25～29	
	こまつな	いなむら	9月7日	株間7cm	10月5日～6日	358	29～30	
		さくらぎ		条間 18cm	10月2日～4日	386	25～28	
	ほうれんそう	寒締め五郎丸	10月24日	株間 6cm	12月12日～1月10日	392	49～78	ケナガコナダニ被害が一部(両入口付近で乾燥気味な所)に発生、株の中心部が変色、葉の奇形はなし、
		ピンドン		条間 18cm	12月11日～20日	309	48～57	
ミズナ	都むすめ	1月18日	株間5.5cm	3月14日～		56～	生育 都むすめ>京だより	
	京だより		条間 18cm	3月18日～		60～		
18	葉大根	美菜	11月2日	株間5.5cm	12月4日～11日	228	32～39	3月26日でサイズオーバー処分
	シロナ	耐病花芯			12月8日～12日	143	36～40	
	小京菜	令和4年採種			12月11日～18日	129	39～46	
	ほうれんそう	スーパーセーブ	1月23日	株間5.5cm	3月25日～26日	—	58～60	
		ピンドン			条間18cm	3月21日～26日		

ハウス番号	品目	品種	播種日	株間、条間	収穫日	収量(束、袋)	栽培期間(日)	備 考
栽培B-1	こまつな	スカイホワイト	5月24日	株間 5.5cm	6月21日～22日	269	28～29	
		さくらぎ		条間 18cm		329		
	こまつな	真夏の四番打者	7月7日	株間 6cm	8月8日	174	33	アブラムシ、タマナギンウワバ発生により減収 葉色(真夏の四番打者>さくらぎ)
		さくらぎ		条間 18cm	8月9日	368	32	
	こまつな	さくらぎ	9月20日	株間5.5cm	10月17日～23日	539	28～33	
			9月19日	条間18cm				
こまつな	さくらぎ	10月31日	株間5.5cm	12月13日～22日	383	43～52	尻腐れ一部発生	
		10月30日	条間18cm					
こまつな	さくらぎ	1月17日	株間4.5cm	3月14日～		57～		
			条間15cm					
栽培B-2	こまつな	つなしま	6月1日	株間 5.5cm	7月12日～13日	173	41～42	尻腐れ多発、葉色は“つなしま”のほうが濃い
		さくらぎ		条間 18cm	6月27日～7月3日	275	26～32	
	こまつな	真夏の四番打者	7月21日	株間 6cm	—	—	—	ハイマダラノメイガ、タマノギンウワバ多発収穫できず処分
		さくらぎ		条間 18cm	—	—	—	
	こまつな	さくらぎ	9月22日	株間5.5cm	10月30日	272	39	
			9月21日	条間18cm	10月27日	340	36	
こまつな	さくらぎ	11月2日	株間5.5cm	12月22日～26日	351	51～55	尻腐れによる減収	
		11月1日	条間18cm					
こまつな	さくらぎ	1月17日	株間5.5cm	3月22日～26日	712	65～69		
			条間18cm					
栽培c	シロナ	耐病花芯	6月6日	株間 5.5cm	6月27日～7月4日	246	21～28	尻腐れ多発により減収
	小京菜	広島菜(自家採種)		条間 18cm	6月28日～7月6日	169	22～30	
	しゅんぎく	令和4年採種	10月20日	株間 7cm	12月20日～1月11日	562	61～83	条間 18cm
	ミズナ	京だより		株間 6cm	11月20日～30日	475	31～41	条間 18cm
	こまつな	あつちゃん	2月15日	株間 5.5cm				
	さくらぎ		条間 18cm					
栽培 D	ネギ	T-1 スリム	播種	株間5cm 条間30cm				
		みやび姫	11月21日					
		観音ねぎ	定植					
		京千緑	1月10日					

2 農業振興センター農業研修

1 目的

栽培技術や販売の研修、農地のあっせんを行い、担い手の減少、遊休農地の拡大等の問題に直面している農村部において就農させ、ゆとりのある生活の中で作られた新鮮な農産物の直売による地産地消の拡大や新規就農者を核とした地域交流により農村地域の活性化を図ることを目的とする。

2 研修期間

令和5年4月 ～ 令和6年3月

3 研修生：生産販売農家育成コース：6名

(原則として週2日、月・金曜日、午前9時～午後3時)

栽培技術基礎コース：3名

(原則として週2日、月・水曜日、午前9時～午後0時)

4 研修場所

センターほ場（露地及びハウス）等

5 研修実績

(1) 栽培実習：43品目の野菜及び花きの肥培管理（P18参照）、農機具の操作技術の習得等

(2) 販売実習：ひろしま朝市での販売技術の習得、市場出荷技術の習得

(3) 講義

講義項目	実施月日	内容
主な野菜及び花きの基礎(1)	6/2	果菜類・葉菜類の栽培について
主な野菜及び花きの基礎(2)	7/21	ひろしまそだち栽培指針について
主な野菜及び花きの基礎(3)	3/4	令和6年度 栽培品目等
病虫害防除	7/5	・農薬の使用について ・防除の概要について(物理的、化学的、生物学的防除)
鳥獣害対策の基礎	2/19	広島市における鳥獣害の現状と対処法について
農業機械講習(1)	1/29	刈払い機
農業機械講習(2)	2/19	トラクター、管理機
野菜販売技術	3/4	野菜の包装技術について
販売体験	7/16、8/20、 11/19、12/17	ひろしま朝市
農業経営 (1)	11/14	税務研修
農業経営 (2)	2/5	簿記記帳の基礎、決算書の作成の仕方
先進農家視察	5/29、6/5、8/7	研修修了生の圃場視察
農業協同組合、稲作	3/4	農協の役割や活用
農業関係法令	7/24	農地賃借等に関する法律について
直売所見学	3/10	とれたて元気市広島店の見学

名	称	令和5年度 業務報告
主 所	管 在 課 地	公益財団法人広島市農林水産振興センター農業担い手育成課 〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目 30 番 12 号 TEL (082) 842-4421 Fax (082) 845-4350 http://www.haff.city.hiroshima.jp/index
発 行 年 月		令和6年12月